

マレーシア研究関係文献目録 (2004年1月～12月)

この文献目録は、2004年1月から12月までの期間に発表されたマレーシア研究に関わる文献を集めたものです。全体を「書籍の部」と「論文の部」に分け、それぞれ著者・編者の五十音順に配列してあります。

「マレーシア」については広い意味で捉えてあるため、現在の国家の枠組みで言えばインドネシア研究やフィリピン研究などに分類されるものも一部含んでいます。また、「研究」についても狭く捉えず、学術論文でなくてもマレーシア社会に対する理解を深める上で役立つと思われるものも含めています。原則として日本国内で発表されたものを対象としていますが、JAMS 会員が国外で発表したものも採録してあります。

この文献目録は、JAMS 会員から事務局へ寄贈された書籍および論文をもとに、編集部で補った文献一覧を加えて作成したものです。JAMS 会員から寄贈されたもの以外の文献については、西芳実、菅原由美、國谷徹、坪井祐司の各会員の協力によって多くの部分を収集することができました。書籍・論文をご寄贈くださいました JAMS 会員のみなさん及び目録作成・文献収集に協力くださった上記の会員各氏にこの場を借りて御礼申し上げます。

また、この文献目録に採録されるべきでありながら抜け落ちている文献にお気づきの場合には、編集部までご一報いただければ幸いです。

なお、編集部で現物が確認できた文献については、いくつかのテーマに分けて、文献目録の後で内容を簡単に紹介しています(紹介文中では敬称略とさせていただきます)。評者がそれぞれの問題関心に沿って文献を紹介する方法をとっているため、紹介が各文献の筆者の執筆意図と必ずしも一致しないこと、また、同一の文献が複数の評者に取り上げられることがあります。なお、目録に採録した文献をすべて取り上げているわけではありませんが、これは入手が困難で現物確認ができなかったなどの理由によるものであり、内容に対する評価とは無関係であることをお断りしておきます。

【図書】

- 井上真『コモンズの思想を求めて:カリマンタンの森で考える』岩波書店、2004.2。
- ウィリアム・S・W・リム(宇高雄志訳)『21世紀アジア都市の未来像:シンガポール人建築家の挑戦』明石書店、2004.8。
- 奥野克巳『「精霊の仕業」と「人の仕業」:ボルネオ島カリス社会における災い解釈と対処法』春風社、2004.2。
- 小竹裕一『シンガポールから学んだこと:南洋に20年生きて』明石書店、2004.4。
- 上東輝夫『東マレーシアの歴史に映る日本人の光と陰:サバ州、サラワク州、ラブアン島』新風舎、2004.5。
- 佐藤考一『獅子の町・海峡の町:マラッカ3国の社会・文化・自然』めこん、2004.6。
- デニソン・ジャヤソーリア(神波康夫・神波幸子訳)『マレーシアにおける障害者:市民権とソーシャルワーク』日本文学館、2004.12。
- 野中春樹『生きる力を育てる修学旅行:いのちの森サラワクで学ぶ』コモンズ、2004.5。
- 信田敏宏『周縁を生きる人びと:オラン・アスリの開発とイスラーム化』京都大学学術出版会、2004.12。
- 弘末雅士『東南アジアの港市世界:地域社会の形成と世界秩序』岩波書店、2004.5。
- 見市建『インドネシア:イスラーム主義のゆくえ』平凡社、2004.8。
- 宮城大蔵『戦後アジア秩序の模索と日本:「海のアジア」の戦後史、1957~1966』創文社、2004.10。
- 安間繁樹『キナバル山:ボルネオに生きる...自然と人と』東海大学出版会、2004.10。

【論文ほか】

- 天野裕介「シンガポールにおける新しい教育改革の過程とその影響:「マレー問題」と「多民族主義」の関連から」『龍谷大学教育学会紀要』龍谷大学教育学会、3:61-78。
- 荒井茂夫「華文学研究のパラダイム:中華的共感世界の歴史的二元性」『人文論叢』(三重大学)、21:35-55。
- 安藤直見・阿部浩久・石黒将史「ペナン島・ジョージタウンの街並みの空間解析に関する研究」『法政大学計算科学研究センター研究報告』法政大学計算科学研究センター、17:164-166。
- 安藤直見・阿部浩久・石黒将史「ペナン島・ジョージタウンの空間構成:3次元可視化装置を用いた街並みの空間評価」『法政大学計算科学研究センター研究報告』法政大学計算科学研究センター、17:103-108。
- 案浦崇「シンガポールにおける教育、研究、開発の特徴」『松蔭女子大学紀要』松蔭女子大学、4:57-74。
- 飯嶋香織「シンガポールの教育戦略:言語政策、経済発展との関係に着目して」『アジア文化研究』国際アジア文化学会、11:169-180。
- 飯田卓「マレーシア東海岸における小規模漁民の操業と漁種選択」『地域漁業研究』44(3):1-21。
- 井口由布「B・アンダーソン「想像の共同体」再考」『史資料ハブ 地域文化研究』21世紀 COE プログラム「史資料ハブ地域文化研究拠点」、3:51-66。
- 池田直隆「シンガポール血債問題」と日本の対応」『国学院大学日本文化研究所紀要』国学院大学日本文化研究所、94:313-352。

- 池田充裕「シンガポールにおける高等教育改革と民営化の動向--産官学の連携と私立大学の誘致」『比較教育学研究』日本比較教育学会、30:19-31。
- 石井眞夫「カリマンタン首狩と国家:民族対立抗争の政治人類学」『人文論叢』(三重大学)、19:13-29。
- 石川登「歴史のなかのグローバリゼーション:ボルネオ北部の植民地期と現代にみる労働のかたち」『文化人類学』日本文化人類学会、69(3):412-436。
- 石川登「国家が所有を宣言するとき:東南アジア島嶼部社会における領有について」三浦徹ほか編『比較史のアジア:所有、契約、市場、公正』東京大学出版会、pp.67-85。
- 石川登「歴史のなかの民族境界:ボルネオ島西部国境社会における村落と国家」加藤剛編著『変容する東南アジア社会:民族・宗教・文化の動態』めこん、2004.10、pp.21-59。
- 石戸光「外国直接投資と開発戦略:成功と制約」『アジア研ワールド・トレンド』アジア経済研究所、103:17-21。
- 石戸光「フィリピンとマレーシア:対外統合度を契機とした発展」『アジア研ワールド・トレンド』アジア経済研究所、109:16-19。
- 石原洋介「マレーシアにおける資本移動規制」『経済系』関東学院大学経済学会、218:76-92。
- 板垣竜太「監視社会(2)マレーシアの「MyKad」:韓国の住民登録制度と比較して」『社会運動』市民セクター政策機構、287:53-57。
- 市川哲「マレーシア華人の国際的な活動領域に見るローカルなネットワーク:パプアニューギニアにおける活動を事例として」『華僑華人研究』創刊号:1-20。
- 井出文紀「サポーティングインダストリー育成政策とリンケージの創出:マレーシアを事例に」『立命館国際研究』立命館大学国際関係学会、17(1):119-145。
- 糸林誉史「イギリス植民地期における多人種主義とムラユ性の構築」『文化女子大学紀要』文化女子大学、12:59-73。
- 今田晃一・青木務「ものづくりにおける材料評価に関する意識調査:マレーシアの中学生を対象として」『教材学研究』日本教材学会、15:105-108。
- 岩尾龍太郎「筑前唐泊孫太郎ボルネオ漂流記基礎資料(1)」『西南学院大学国際文化論集』西南学院大学学術研究所、19(2):175-202。
- 岩崎祐子「マレーシアの証券市場改革」『四日市大学論集』四日市大学学会、16(2):107-114。
- オイ・シヨンゴウ「マレーシアにおける女性就労とジェンダー問題:変容するジェンダー役割を中心に」『法学政治学論究』慶應義塾大学大学院法学研究科内「法学政治学論究」刊行会、60:97-128。
- 宇高雄志「マレーシアにおける歴史的市街地の保全:その現状と制度整備上の課題」『日本建築学会計画系論文集』日本建築学会、584:91-97。
- 梅崎創「ブミプトラ政策と所得分配」『アジア研ワールド・トレンド』アジア経済研究所、103:8-12。
- 梅津弘幸「英連邦戦略予備軍創設の背景:イギリスの ANZAM 協定再活動化提案とオーストラリアによるマラヤへの防衛コミットメントの増強」日本国際政治学会編『国際政治』136:97-116。
- 大橋亜由美「書評奥野克巳著『「精霊の仕業」と「人の仕業」:ボルネオ島カリス社会における災い解釈と対処法』」『アジア経済』アジア経済研究所、46(2):98-101。
- 奥村みさ「都市国家における心象風景:シンガポールの都市再開発にみるポストコロニアル・ナショナリズム」

- 『国際英語学部紀要』中京大学国際英語学部、5:17-34。
- 落合恵美子・山根真理・宮坂靖子「変容するアジア諸社会における育児援助ネットワークとジェンダー：中国・タイ・シンガポール・台湾・韓国・日本」『教育学研究』日本教育学会、71(4):382-398。
- 小野澤純「アブドラ新政権下のマレーシア：「2020年ビジョン」の完成に向けて」『海外事情』拓殖大学海外事情研究所、52(10):2-20。
- 小野林太郎「ボルネオ島東岸域における新石器時代遺跡の諸特徴とその系譜：遺物組成・生計戦略・立地環境からの比較と検討」『東南アジア考古学』24:19-52。
- 鏡味治也「書評 小國和子著『村落開発支援は誰のためか：インドネシアの参加型開発協力に見る理論と実践』」『文化人類学』日本文化人類学会、69(3):469-472。
- 垣下禎裕「マレーシア・クアラルンプールの都市開発事情」『区画整理』日本土地区画整理協会、47(9):52-56。
- 檜村あい子「日本占領下「昭南島」における日本語教育：エスニシティ構造の変化に着目して」『植民地教育史研究年報』7:63-138。
- 加藤剛「現代インドネシアの文化政策と地域アイデンティティ：リアウ州のムラユ化の政治過程」加藤剛編著『変容する東南アジア社会：民族・宗教・文化の動態』めこん、2004.10、pp.371-459。
- 加藤亮・斉藤達也・増田美砂「ボルネオ奥地における観光開発の可能性：サラワク州バリオを事例として」『筑波大学農林技術センター演習林報告』筑波大学農林技術センター、20:59-100。
- 金谷尚知「アジアの砂漠化・土壌流出と国際協力に関する研究：中国新疆ウイグル、タイ国、マレーシア国における事例からの考察」『国際関係研究』日本大学国際関係学部国際関係研究所、24(4):47-62。
- 金子芳樹「マハティール体制の確立過程：マレーシアにおける政治体制とリーダーシップ」関根政美・山本信人編『海域アジア』慶應義塾大学出版会、2004.6、pp.201-230。
- 金丸裕志「シンガポールの市民社会と NGO：一党支配体制下での政府との「協働」」『政治研究』九州大学政治研究会、51:93-125。
- 金丸裕志「シンガポールの市民社会と NGO：政府との関係における三類型」『福岡発・アジア太平洋研究報告』福岡アジア都市研究所、13:64-73。
- 川島哲「地域統合と国民国家の狭間：マレーシアとインドネシアを例として」『金沢星稜大学論集』金沢星稜大学経済学会、37(3):41-50。
- 川端隆史「アブドゥラ新政権の 5 ヶ月：新時代のマレーシアに向けて」日本マレーシア協会『月刊マレーシア』473:4-7。
- 川元豊和「半島マレーシアにおける住宅団地の開発と多民族居住：ジョホール州クルアンのタマン・インタン低価格住宅地区を事例として」『地域学研究』駒澤大学応用地理研究所、17:1-32。
- 木村陸男「特集にあたって：ビジョナリーなき「ビジョン 2020」への挑戦」『アジア研究ワールド・トレンド』アジア経済研究所、103:2-3。
- 草野孝久「マレーシア国ボルネオ生物多様性・生態系保全プログラム」『農林業協力専門家通信』25(4):35-45。

- 楠根重和「権威主義国家マレーシアにおけるマス・メディア事情」『金沢法学』金沢大学法学部、46(2):97-122。
- 久世濃子「マレーシア・サバ州におけるオランウータンの調査と保護の現状」『霊長類研究』日本霊長類学会、20(1):77-80。
- 國谷徹「19世紀末の蘭領東インドからのメッカ巡礼について:巡礼パスポート制度の展開過程を中心に」『日蘭学会会誌』日蘭学会、29(1)。
- 熊谷聡「国民車とプミプトラ企業育成策」『アジア研ワールド・トレンド』アジア経済研究所、103:13-16。
- 桑島昭「世界大戦の性格と「地域」の視点:シンガポールにおけるインド兵の反乱(1915)」『Ex Oriente』嵯峨野書院、10:21-43。
- 桑名義晴「シンガポールの高等教育政策:大学院教育を中心にして」『グローバル経営』日本在外企業協会、273:12-15。
- 小磯滋・山本晋「マレーシア投資法制度の研究:プミプトラ政策とその行政執行の構造」『常磐国際紀要』常磐大学国際学部、8:197-211。
- 高地薫「インドネシアにおける民主主義を巡る言説:「指導される民主主義」にいたる過程」『東洋文化研究所紀要』東京大学東洋文化研究所、145:228-202。
- 耕野拓一「書評・紹介 安延久美著(2002)『マレーシア稲作経営の新しい担い手』」『開発学研究』日本国際地域開発学会、14(3):67-69。
- 國分圭介「マレーシアにおける経済発展と産業立地:国内プロダクトサイクル仮説と検証:1947年～2000年」『東アジア研究』山口大学大学院東アジア研究科、3:21-58。
- 國分圭介「マレーシアにおける産業クラスターと人口移動:1970～2000年」『国際開発研究』国際開発学会、13(1):71-81。
- 國分圭介「マレーシアにおける投資環境の地域間格差:在マレーシア日系製造業企業 52社に対するアンケート調査に基づく分析」『東洋文化研究所紀要』東京大学東洋文化研究所、146:284-246。
- 小島正剛「結社の自由は夢物語か:マレーシアに見る移住労働者の境遇」『労働レーダー』労働問題研究会、28(7):36-38。
- 小林和夫「インドネシアにおける「伝統」の実践とポリティクス:新秩序体制下のゴトン・ロヨン(相互扶助)と都市住民組織 RT/RW の夜警をめぐって」『社会学評論』日本社会学会、55(2):98-114。
- KOBAYASHI Yasuko. "Mocking without Mockery: Singaporean Malays and Indonesian Domestic Workers". *Review of Indonesian and Malaysian Affairs*. 38(1):99-122.
- 坂部望「シンガポールにおける IT 関連立法の一例」『苫小牧駒澤大学紀要』苫小牧駒澤大学、12:87-112。
- 櫻谷勝美「マレーシア経済の現段階:マハティール首相が達成したもの」『三重大学法経論叢』三重大学社会科学学会、21(2):67-89。
- 貞好康志「ジャワで〈華人〉をどう識るか:同化政策 30 年の後で」加藤剛編著『変容する東南アジア社会:民族・宗教・文化の動態』めこん、2004.10、pp.61-92。
- 佐藤考一「マレーシア・シンガポールの華人社会」『シンガポール』日本シンガポール協会、

- 2004(1):25-31。
- 佐藤考一「ジェマ・イスラミヤとシンガポール」『シンガポール』日本シンガポール協会、2004(2):42-47。
- 佐藤考一「リー・シェンロン副首相の台湾訪問とシンガポール・中国関係」『シンガポール』日本シンガポール協会、2004(3):25-30。
- 佐藤考一「シンガポールの政策キャンペーン」『シンガポール』日本シンガポール協会、2004(4):17-23。
- 篠崎香織「シンガポールの華人社会における剪辮論争:異質な人々の中で集団性を維持するための諸対応」『中国研究月報』中国研究所、58(10):1-14。
- 篠崎香織「シンガポール華人商業会議所の設立(1906年)とその背景:移民による出身国での安全確保と出身国との関係強化」『アジア研究』アジア政経学会、50(4):38-54。
- Sim Choon Kiat「シンガポールの教育とメリトクラシーに関する社会学的研究:再加熱装置としての技術教育校」『教育社会学研究』東洋館出版社、74:269-288。
- 霜浦成世「マレーシア型成長モデル形成への国家戦略:マハティール政権における VISION2020 を中心に」『社会科学』同志社大学人文科学研究所、72:291-325。
- 杉島敬志「現在を理解するための歴史研究:東インドネシア・中部フローレスの事例研究」『文化人類学』日本文化人類学会、69(3):386-411。
- 杉村美紀「世界の動き国際的な市場にらみ教育改革:国民統合と経済発展のはざまに・マレーシア」『内外教育』時事通信社、5471:2-4。
- 杉本均・石川裕之・巖賢娥「シンガポールおよび韓国における才能教育の比較研究:エンリッチメントとアクセラレーション」『京都大学大学院教育学研究科紀要』京都大学大学院教育学研究科、50:64-86。
- 鈴木早苗「マハティール政権の東アジア地域協力政策」『アジ研ワールド・トレンド』アジア経済研究所、103:26-29。
- 左右田直規「ニュータウンのムスリム社会:マレーシアの近郊都市における宗教的ネットワークに関する覚え書き」『東京外大東南アジア学』9:106-122。
- 高多理吉「マレーシアの新たな挑戦:「エコ・ステイト」への展望」『季刊 国際貿易と投資』56:32-43。
- 高野さやか「「合意への階梯」を支えるもの:インドネシアにおける地域的紛争処理組織と国家法廷の関係から」『超域文化科学紀要』東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻、9:145-164。
- 田村慶子「マレーシアの NGO とジェンダーの主流化:エスニックな分断を超えて」田村慶子・織田由紀子編著『東南アジアの NGO とジェンダー』明石書店、2004.2、pp.83-113。
- 田村慶子「サラワクの華語教育と華人社会」『北九州市立大学法政論集』31(2・3・4):153-182。
- TAMURA Keiko, T. "Chinese Education and Society in Sabah, East Malaysia". 『社会システム研究』(北九州市立大学)、2:73-92。
- 多和田裕司「「多様化」するイスラーム:現代マレーシアにおけるマレー系アイデンティティの変容」『都市文化研究』大阪市立大学大学院文学研究科都市文化研究センター、3:84-96。
- 陳燕南「華僑研究センターだより シンガポール華人社会の華語教育」『海外事情』拓殖大学海外事情研究所、52(3):86-89。

- 坪井祐司「英領マラヤにおける「マレー人」枠組みの形成と移民の位置づけ:スランゴール州のプンフルを事例に」『東南アジア 歴史と文化』33:3-25。
- 鄭正浩「タイ・マレーシア華人社会における辟邪呪物及び守護神信仰について」『ノートルダム清心女子大学紀要』ノートルダム清心女子大学、28(1):12-25。
- 手嶋将博「マレーシア就学前教育における英語教育カリキュラムの分析:英語媒体による理数科目授業開始の視点から」『比較・国際教育』12:53-64。
- 鳥居高「マレーシアの政治体制と二つの民衆運動」私市正午ほか編『イスラーム地域の民衆運動と民主化』東京大学出版会、pp.179-196。
- 鳥居高「多民族国家マレーシアにおける連立政党の仕組みと限界」日本比較政治学会編『比較のなかの中国政治』早稲田大学出版部、2004.6。
- 中川利香「通貨危機の処方箋:マレーシア型政策とその適用可能性」『アジア研ワールド・トレンド』アジア経済研究所、103:22-25。
- 中島美登子・高田光雄「マレーシア・ペナン州の知的障害者小規模作業所における作業環境と支援活動に関する研究:構造化手法による知的障害者の生活環境改善のための基礎的研究」『都市住宅学』都市住宅学会、47:113-118。
- 長津一史「越境移動の構図:西セレベス海におけるサマ人と国家」関根政美・山本信人編『海域アジア』慶應義塾大学出版会、2004.6、pp.91-128。
- 長津一史「「正しい」宗教をめぐるポリティクス:マレーシア・サバ州、海サマ人社会における公的イスラームの経験」『文化人類学』日本文化人類学会、69(1):45-67。
- 長津一史「〈正しい〉宗教の政治学:マレーシア国境海域におけるイスラームと国家」加藤剛編著『変容する東南アジア社会:民族・宗教・文化の動態』めこん、2004.10、pp.245-292。
- 中村みゆき「シンガポール政府持株会社テマセク社の株式売却に関する考察:-民営化政策による公的支配への影響」『アジア研究』アジア政経学会、50(4):55-78。
- 中村正志「開発政治の行方」『アジア研ワールド・トレンド』アジア経済研究所、103:4-7。
- 中村正志「データで見る第 11 回マレーシア総選挙:与党連合圧勝の背景」『アジア研ワールド・トレンド』アジア経済研究所、106:32-35。
- 中村正志「マレーシア:民族構成の変化と政治」『アジア研ワールド・トレンド』アジア経済研究所、111:10-11。
- 中村正志「アブドラによるアブドラのための選挙」『世界週報』時事通信社、85(16):52-53。
- 中村正志「高まるマレー人の優遇政策強化要求」『世界週報』時事通信社、85(46):56-57。
- 中村光男「東南アジアにおけるイスラームと市民社会」片倉もとこほか編『イスラーム世界』岩波書店、pp.98-289。
- Nicholas John White・高田実「20 世紀マレーシアにおける国家と経済発展」『九州国際大学経営経済論集』九州国際大学附属図書館、10(3):141-160。
- 西尾寛治「マレー世界における契約:商業的契約と政治的契約」三浦徹ほか編『比較史のアジア:所有、契約、市場、公正』東京大学出版会、pp.141-161。
- 橋本和孝「シンガポール社会学再論」『法学研究』慶應義塾大学法学研究会、77(1):447-469。

- 羽田積男「私立大学の質保証:マレーシアの試み」『IDE』民主教育協会、464:61-65。
- 坂東達郎「マレーシアの競争力強化とブミプトラ政策」『Rim』日本総合研究所調査部環太平洋研究センター、13:215-232。
- 坂東達郎「低迷するマレーシアの国民車プロトン」『アジア・マンスリー』日本総研調査部環太平洋研究センター、4(35):3-4。
- 福田隆眞「シンガポールの新しい教育課程と初等美術教育の方向」『教育実践総合センター研究紀要』山口大学教育学部附属教育実践総合センター、17:11-22。
- 福田隆眞「シンガポールの新しい教育課程と中等美術教育の方向」『教育実践総合センター研究紀要』山口大学教育学部附属教育実践総合センター、17:23-34。
- 福田隆眞「シンガポール中等教育のデザイン学習の位置づけについて」『教育実践総合センター研究紀要』山口大学教育学部附属教育実践総合センター、18:43-52。
- 舟橋良治「マレーシア総選挙 地滑りの勝利でも足元に不安のアブドラ政権:与党が圧勝したマレーシア総選挙」『世界週報』時事通信社、85(15):32-33。
- 邊土名朝邦「資料 シンガポール文化事情点描」『西南学院大学国際文化論集』西南学院大学学術研究所、18(2):257-269。
- 細野ひろみ・耕野拓一・伊藤繁「人獣共通感染症がもたらす社会経済的影響:マレーシアにおけるニパウイルスの事例」『日本農業経済学会論文集』農山漁村文化協会、2004年度:472-475。
- 松岡純子「近代アジアの文学における女性像:シンガポール華文文学の場合」『長崎県立大学論集』長崎県立大学学術研究会、38(1):169-196。
- 松田修「シンガポールにおける財務報告基準」『名古屋産業大学論集』名古屋産業大学、5:47-55。
- 松永典子「南方派遣日本語教育要員の養成:「練成」という教育理念・方法論との関連から」『ポリグロシア』9:145-154。
- 丸山恭平「中国からの「新移民」の増加」『シンガポール』日本シンガポール協会、2004(4):8-12。
- 村井勅裕「情報・話題 マレーシア・サバ州のテングザルの調査と保護」『霊長類研究』日本霊長類学会、20(2):129-132。
- モハメッド・ユソフ・イスマイル「イスラーム国家マレーシアに見る仏教徒シャム人のアイデンティティ」加藤剛編著『変容する東南アジア社会:民族・宗教・文化の動態』めこん、2004.10、pp.295-319。
- モリー・N.N.リー・杉本和弘「マレーシアにおける高等教育改革」『IDE』民主教育協会、459:53-58。
- 守崎誠一「個人主義/集団主義的価値観に関する比較文化研究:日本・アメリカ・中国・フィリピン・マレーシアの社会人と大学生」『Human Communication Studies』Communication Association of Japan、32:69-92。
- 安田武彦「マレーシアの工業化プロセスと政府の役割」『商学集志』日本大学商学研究会、74(2-4):153-174。
- 山田悠未「マレーシア華人新村の成立背景とその概要:華人新村研究(その1)」『日本建築学会計画系論文集』日本建築学会、585:225-231。
- 山西敏博「21世紀から見た20世紀の歴史に関する研究:シンガポールの視点から見た「太平洋戦争」と学

【2004年のマレーシア研究】 マレーシア研究関係文献目録

- 生の意識』『苫小牧工業高等専門学校紀要』苫小牧工業高等専門学校、39:173-183。
- 百合草孝子「国際ボランティア体験学習：マレーシア奉仕団の活動から」『ノートルダム清心女子大学紀要』ノートルダム清心女子大学、28(1):50-65。
- 吉野耕作「トランスナショナルな高等教育産業：英語化とマレーシアの文化仲介者をめぐって」伊藤守ほか編『グローバル社会の情報論』早稲田大学出版会、2004.1、pp.177-195。
- 吉村真子「マレーシアのエスニシティと社会：グローバリゼーションにおける多民族社会」『社会志林』法政大学社会学部学会、50(3):44-58。
- 吉村真子「英領マラヤ／マレーシアの労働者をめぐる一考察」『社会志林』法政大学社会学部学会、50(4):65-77。
- 米田政明「国立公園と焼畑の共生：マレーシア・サバ州公園局の取組み」『国立公園』国立公園協会、626:10-13。